

2024年3月期第1四半期 決算説明資料

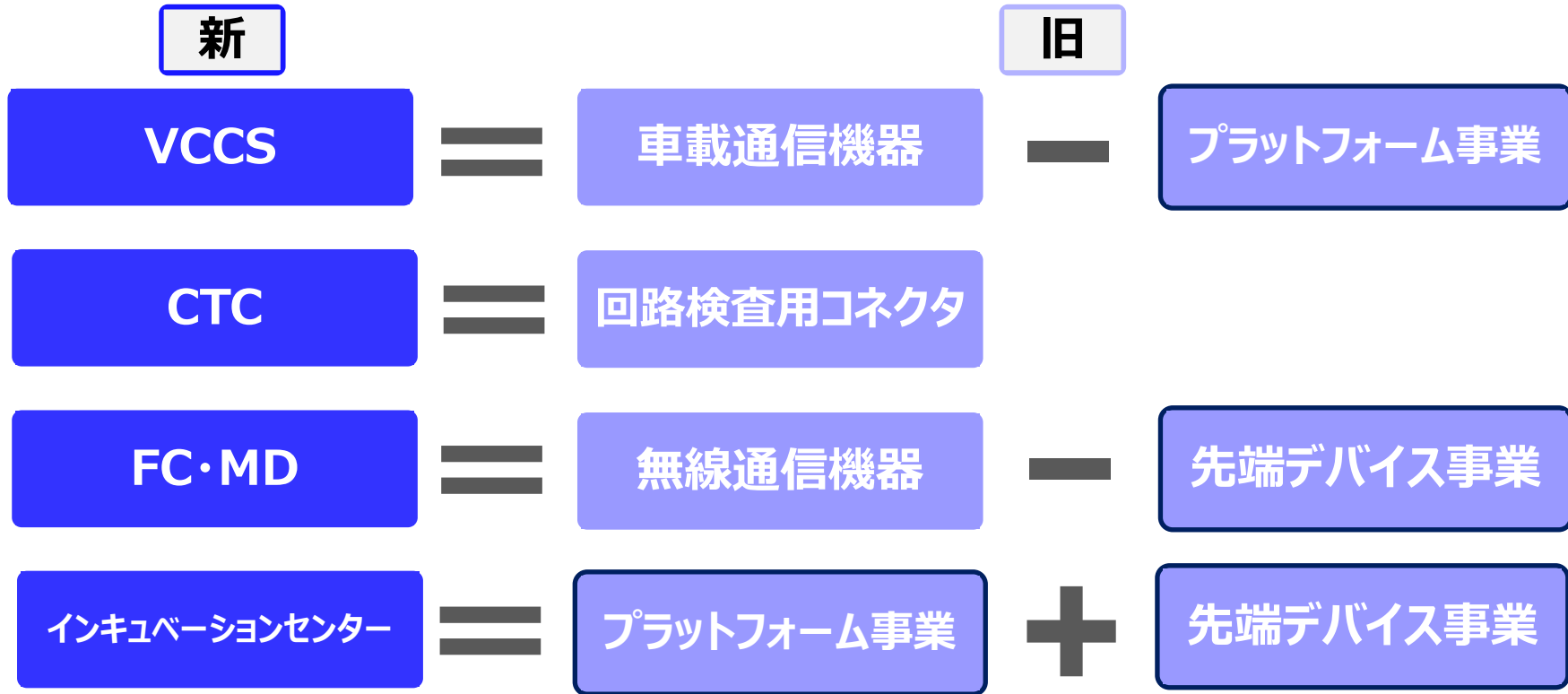
2023年8月7日

株式会社 **ヨコオ**

* 本資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値・施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

セグメント区分の変更について

当第1四半期連結累計期間より、下記のとおり報告セグメントの区分及び名称を変更しております。



「インキュベーションセンター」セグメントに含めております「プラットフォーム事業」は、ADAS(先進運転支援システム)や自動運転、コネクテッドカーなどの新規分野において、より先進的かつ付加価値の高い戦略製品の開発に取り組んでおります。また、「先端デバイス事業」は、高速大容量通信に向けた光通信市場に対し、汎用性と独自性を追求した高速伝送デバイス製品を提供しております。

2024年3月期第1四半期連結決算まとめ

(単位：百万円)

	期中平均レート 1ドル：129.73円	期中平均レート 1ドル：137.49円	
	前1Q (22年4-6月) 実績	当1Q (23年4-6月) 実績	前年同期比
売上高	18,926	18,181	▲3.9%
営業利益	1,087	▲258	-
経常利益	3,057	1,156	▲62.2%
四半期純利益	2,031	828	▲59.2%

売上高：VCCSセグメントが前年同期比で増収となるも、CTC及びFC・MDの両セグメントが減収

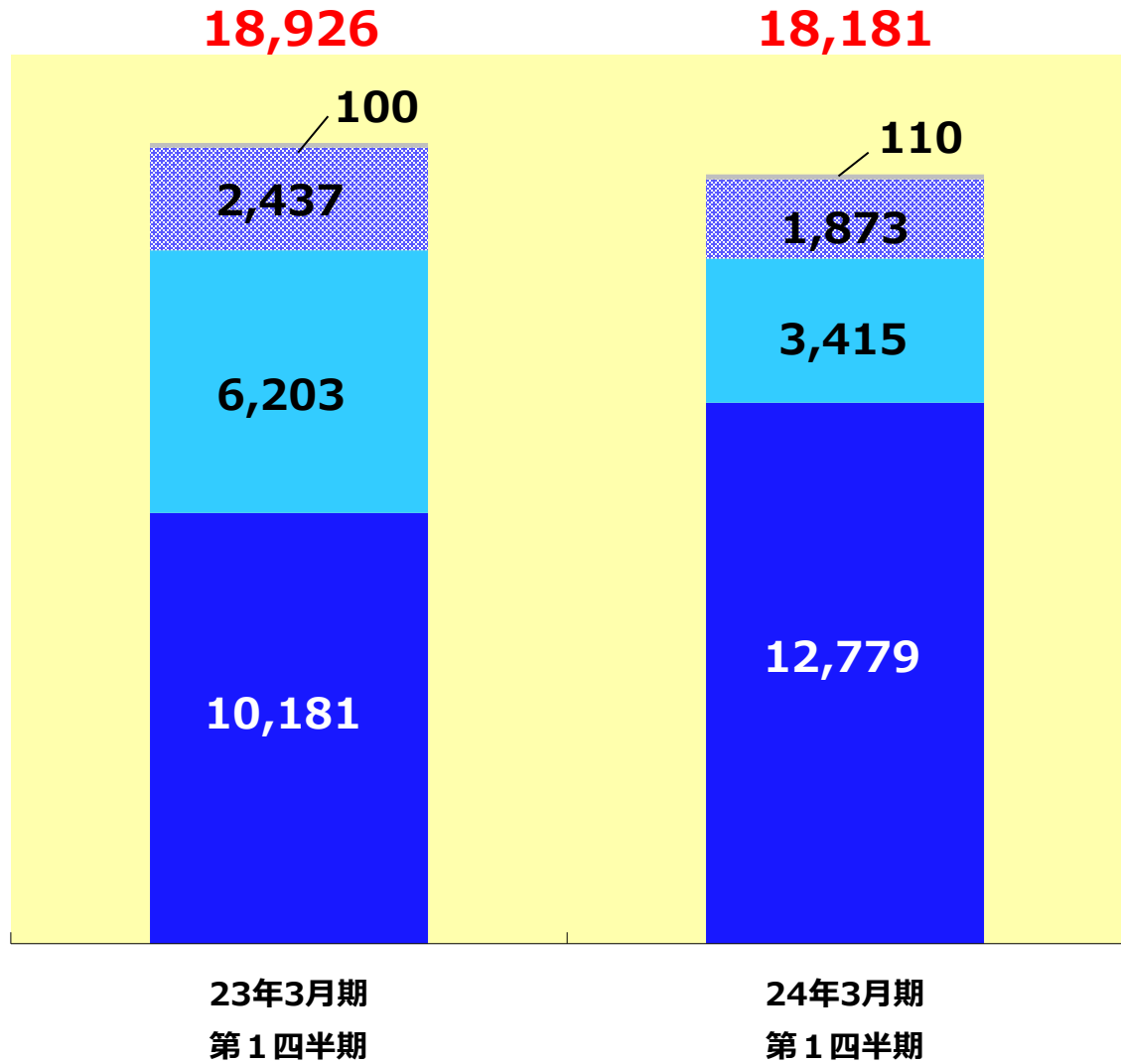
営業利益：VCCSセグメントが黒字化したものの、CTC及びFC・MDの両セグメントの減収により

損失を計上したほか、新規事業を中心としたインキュベーションセンターセグメントも損失を計上

経常利益：為替差益1,446百万円を計上したものの営業損失により減益

四半期純利益：経常減益などにより減益

セグメント別売上高推移



(単位：百万円)



全社：前年同期比 ▲3.9%

インキュベ	：	〃	▲9.7%
FC・MD	：	〃	▲23.1%
CTC	：	〃	▲44.9%
VCCS	：	〃	+25.5%

第2四半期連結累計期間業績予想

	期中平均レート 1ドル：134.03円	想定為替レート 1ドル：140円（8月以降当期末まで）		(単位：百万円)	
	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期 前回予想 (23年5月公表)	24年3月期 第2四半期 今回予想	前年同期比	前回予想比
売上高	40,207	36,000	35,000	▲13.0%	▲2.8%
営業利益	3,507	500	▲700	-	-
経常利益	6,538	50	0	-	-
四半期純利益	4,179	35	▲150	-	-

8月以降の想定為替レートは1ドル=140円（当初想定為替レート 1ドル=130円）の想定

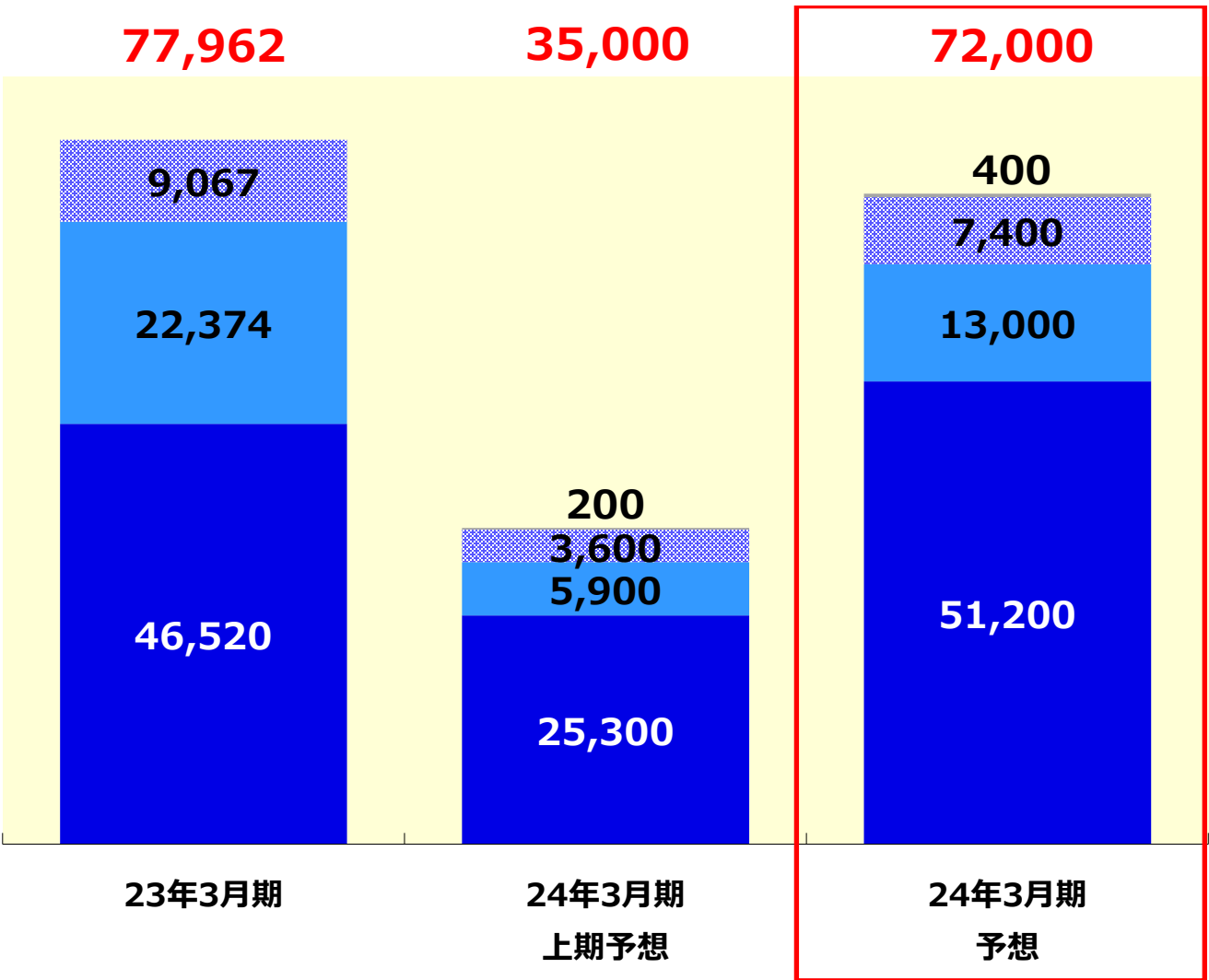
通期業績予想

	期中平均レート 1ドル：135.49円	想定為替レート 1ドル：140円（8月以降当期末まで）	(単位：百万円)		
	23年3月期	24年3月期 前回予想 (23年5月公表)	24年3月期 今回予想	前期比	前回予想比
売上高	77,962	77,000	72,000	▲7.6%	▲6.5%
営業利益	4,739	3,200	200	▲95.8%	▲93.8%
経常利益	5,675	2,750	900	▲84.1%	▲67.3%
当期純利益	3,147	2,000	450	▲85.7%	▲77.5%

8月以降の想定為替レートは1ドル=140円（当初想定為替レート 1ドル=130円）の想定

セグメント別売上高予想

(単位：百万円)



- インキュベーションセンター
- FC・MD
- CTC
- VCCS

全社： 前期比 **▲6.5%**

インキュベ： // -
 FC・MD： // ▲12.9%
 CTC： // ▲29.7%
 VCCS： // +2.4%

第1四半期連結累計期間の実績および直近の受注見通しを踏まえ、下記のとおり通期予想を修正。

VCCS +1,200百万円
 CTC ▲5,500百万円
 FC・MD ▲1,100百万円

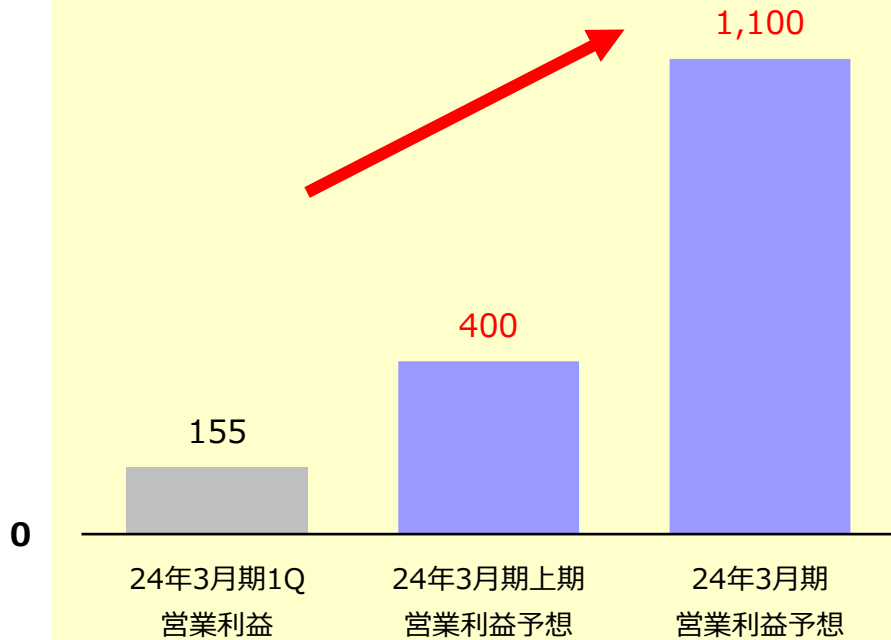
セグメント別営業損益予想①

(単位：百万円)

<VCCS>

<前提>

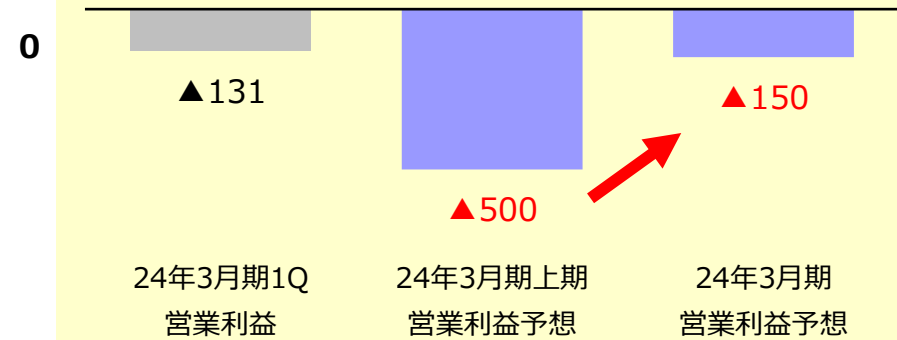
- ・半導体不足の影響が緩和し、自動車の生産・販売は回復
- ・海上運賃鎮静化に伴い物流費は安定化
- 増収に伴う増益見込み



<CTC>

<前提>

- ・半導体市場の落ち込みは2023年いっぱい継続
- ・2024年以降、徐々に回復するものと想定
- ・固定費削減の徹底
- 第4四半期以降は損益改善



セグメント別営業損益予想②

(単位：百万円)

<FC・MD>

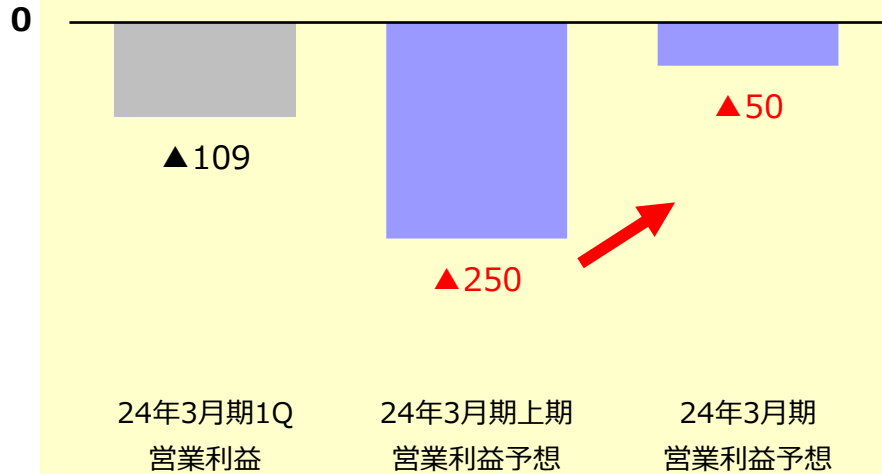
<前提>

FC

- ・世界的な景気悪化の影響によりPOS端末など電子機器端末の伸び悩みが見込まれ、2023年中は継続
- ・固定費削減の徹底

MD

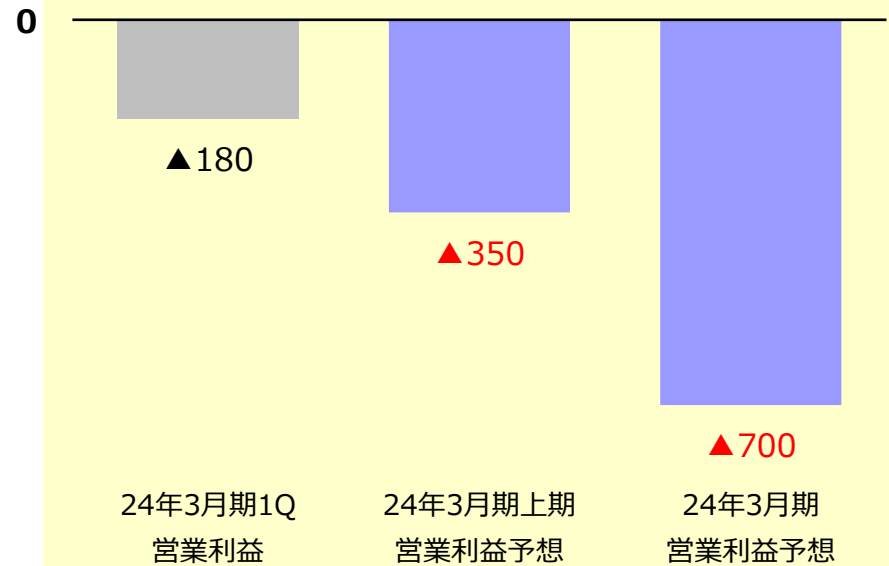
- ・低侵襲医療への需要が順調に伸長
- 第4四半期以降は損益改善



<インキュベーションセンター>

<前提>

- ・モビリティの進展やIoTの普及に伴い、市場は順調に成長
- ・新規事業中心のため、売上高は小幅に推移
- 通期で700百万円の損失見込み



配 当 金

(単位：円/1株当り)

	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期 ※ () は予想
中 間	14	16	18	25	(22)
期 末	16	20	22	25	(22)
合 計	30	36	40	50	(44)
連結配当性向	17.7%	19.5%	19.8%	37.0%	228.0%

半導体検査市場の落ち込みは一時的であり、中長期的には成長するという考えのもと、2024年3月期の配当予想は据え置き